

『英語上級者への道 ～英検1級合格を目指して』

第4回 読む活動について(その1)

日本語訳

■ Dialogue for introduction

T: みなさん、こんにちは。

E: こんにちは、みなさん。こんにちは、テツ。みなさんの英語力向上にささげる、4回目のインターネットからの放送です。テツ、今回のテーマはなんですか。

T: この日本で、英語教師として仕事をしていると、「私は、英語を読むことはできますが、話したり聞いたりする力が、劣っているんです。」と、こんなことを言う多くの英語学習者に会うことがあります。

E: その通りだね。でも、そういう人たちは、正確にいろいろな英文を読むことができるのだろうか、と疑問に思っているんだ。その教材を見て、辞書を使ってそれを読んで、しかも結構時間をかけて読んで、ほんの少しわかる、と言いたいんじゃないかと思うんだ。

T: そこなんだよ。多くの人が思い描く読む力というのは、辞書を使って時間をかければ、いくつかの文章を理解できるという、そんな力のことを言ってるんだと思う。

E: 正確に早く内容を読み取ることができるような、そんな実際の読む力を育てる方法を学んでもらえるといいですね。

T: 今月のレッスンで、みなさんに、そんな力を育てるためのヒントをさしあげることができれば、と思っています。それでは、始めましょう。

E&T: 始まり始まり～!

■ Task 1 First Reading

間もなく画面に現れるパッセージを読んでください。

アメリカの高齢者とインターネット

インターネット技術は、まず、若者によって、若者を対象に、発達しました。しかしながら、いまや、アメリカでは高齢者層の間でインターネットの使用者が急速に増えています。Pew Internet and American Life Projectが行った調査によれば、2005年には、70歳から75歳のアメリカ人のうち、26パーセントがインターネットの使用者であったのが、今日、その割合は45パーセント近くまで跳ね上がっているとのことです。60歳から69歳までを加えると、この数字は、ほぼ60パーセントに上ることです。専門家によれば、すでにコンピュータになじんでいる人たちが現役を退き、情報に通じている状態、社会に参加している状態にとどまる助けとなるようにインターネット技術を使うので、コンピュータを使える高齢者の割合は今後も増えるだろうとのことです。

(2011年度 第1回 準1級3)

■ Task 2

T: みなさん、しっかりパッセージを読み終えられたと思います。

E: 私もそう願いたい。

T: では、読み終えたパッセージの概要を伝えてみてください。

E: 気持ちを楽に、友達と会話しているようなつもりでやってみてください。制限時間は1分です。

T: どんな話でしたか。1分間で、だれかに伝えるつもりで、英語で今読んだ内容を語ってみてください。用意はいいですか。では、始めてください。

■Vocabulary and Expressions Step 1

語彙表現を学習しましょう。語彙表現リストを見てください。
私が読む日本語を聞いて、エドワードが読む英語をリピートしてください。

1	インターネットに代表されるコンピュータをつないで使用する技術	online technology
2	～を対象、目的とする	target～
3	階層や、区分されたグループ	segment
4	ところが	whereas
5	数字、数量	figure
6	コンピュータを使える	computer-literate
7	～に慣れている、違和感がない	comfortable with～
8	退職する	retire
9	情報に通じた	informed
10	関係している	involved

■Vocabulary and Expressions Step 2

さて、もう少し、練習しましょう。日本語を、ランダムに言います。語彙表現リストを見ることができる人は、見ながらでかまいません。聞こえてきた日本語に対する英語表現を、できるだけ早く口に出して言ってみてください。

■Vocabulary and Expressions Step 3

さあ、いかがですか。完璧に覚えることができましたでしょうか。今度はリストを見ないで、日本語を聞いて、日本語に相当する英語表現を言ってみてください。できるだけ素早く反応してください。

■Task 3 Second Reading

もう一度パッセージを読んでみましょう。

アメリカの高齢者とインターネット

インターネット技術は、まず、若者によって、若者を対象に、発達しました。しかしながら、いまや、アメリカでは高齢者層の間でインターネットの使用者が急速に増えています。Pew Internet and American Life Project が行った調査によれば、2005年には、70歳から75歳のアメリカ人のうち、26パーセントがインターネットの使用者であったのが、今日、その割合は45パーセント近くまで跳ね上がっているとのことです。60歳から69歳までを加えると、この数字は、ほぼ60パーセントに上ることです。専門家によれば、すでにコンピュータになじんでいる人たちが現役を退き、情報に通じている状態、社会に参加している状態にとどまる助けとなるようにインターネット技術を使うので、コンピュータを使える高齢者の割合は今後も増えるだろうとのことです。

■Task 4

1分間で、パッセージの内容を語ってみてください。
用意はいいですか。では、始めてください。

■Models

モデルを二つ聞いてみましょう。

最初は、私が、簡単に語ってみます。次は Edward が本気の Native Power で語ります。

モデルを聞いてみてください。まず、私がモデル1、次がエドワードによるモデル2です。

モデル1

インターネットの技術は若者たちによって開発された。開発されているときには、この技術は若い人たちを対象にしていた、しかし、この技術を使う高齢者の数が増えている。60~75歳の人たちの60パーセントが、これらのインターネット技術に親しんでいる人たちである。こんな高齢者の割合は増加しているのです。理由の一つとして、これら的高齢者たちは会社やその他の場所で、これらの技術を使っていたということが挙げられます。インターネット技術は、高齢者たちが情報に通じた状態、社会に参加している状態を保つのに役立っています。

さて、モデル2です。ネイティブスピーカーによる、最高の要約をどうぞ。

モデル2

Pew Institute によれば、初め、アメリカの若者中心であったインターネットの使用について、高齢者の割合が、いっそう増えている。調査によれば、2005年から、70歳から75歳のインターネット使用者は19パーセント増えた。60歳までの人たちまで含めれば、使用者の割合は60パーセントになる。この数字は、コンピュータを使えるアメリカ人が、退職する年齢に達するので、増加すると思われる。

■Review 3

T: エドワード、君の要約はいつも私のものよりずっといいですね。本当にうらやましい。

E: ははは。実を言えば、これは、ネイティブスピーカーにも簡単なことではないのですが、どんな言葉であっても、とても大切な技術だと思います。私たちがパッセージの通りに言っていたのではなく、異なる文構造を使っていたことに、みなさん気付いてくれましたか？ テツ、君の要約は、良い例だよ。より簡単な文章を使っているからね。

T: そうだね。二人とも、26、70、75、60、69、さらに60、など細かいことや、あるいはこういったすべての数字が何を表しているかについて詳細は述べませんでした。より簡易な方法で、これらの数字の意味を語りなおすことで、情報を再編成しました。

T: 幸運にも、私の担任の先生は、中学高校の6年を通じて、和代という日本語教師でした。

彼女は厳しかった。たくさん本を読まされ、作文を書かされた。もちろん、物語や散文の要約を書き、感想や意見を書かなければならなかった。

E: テツは、英語でできることは、母国語でできることだ、ということを見せてくれているんだね。

■Final Task

このパッセージは、2011 年度第一回英語検定準 1 級の内容真偽問題からの引用です。以下に質問と選択肢がありますから、正しい答えを選んでみましょう。きっとみなさん、正しい答えを選べるはずですよ。

Q 高齢者とインターネットの関係について、どんなことが言えるでしょうか。

- 1 広告会社が彼らにその利便性を宣伝するまで、ほとんどの高齢者がインターネットの利便性に気付いていなかった。
- 2 インターネットを使い始めるのに、高齢者は、他の年齢層の人たちよりもより長い時間がかかったのだが、彼らは、今ではインターネットの成長には大切な貢献者である。
- 3 インターネットの初期の開発は、若い人たちに依存していたのだが、初めて日常的にインターネットを使い始めたのは、高齢者の人たちであった。
- 4 70 から 75 歳の高齢者によるインターネットの使用が減っているのは、彼らが 60 から 69 歳までの高齢者より、インターネットを使う時間が少ないということの意味する。

T: さて、答えを選びましたか。正解をお知らせします。

E: 正解は、「3、インターネットの初期の開発は、若い人たちに依存していたのだが、初めて日常的にインターネットを使い始めたのは、高齢者の人たちであった。」

T: みなさん、すばらしいですね。

E: よくできました。

T: いかがでしたか。正解は、3 Although the Internet's early development relied on young people, seniors were the first to use it on a regular basis. ですね。

■Closing Dialogue

T: さて、お別れです。

E: でも、またきっとみなさんにお会いできますよね。テツ、来月はどんな内容を用意しているんだい？

T: すばやく、正確に概要を伝えられるように、読む技術をいかに育てるか、ということについて、もっと詳しく論じたいと思っています。読むことは、受信活動、受動的な活動であると考えられているのですが、その読むことを通じて、発信する力、とくに話す力をいかに伸ばすことができるか、そんな方法をさらに学んでもらえると思います。

E: 面白そうですね。「I hate reading comprehension questions.」と言うた皆さんの人たちに会いました。

T: 「長文読解問題が大嫌いだ」という意味ですね。

E: 私は、そう言いましたよね。

T: そうです。日本語でそう言ったんですよ…。

E: あれ？ 気が付かなかった。

T: 無意識に日本語を話すほど、日本語が上達したのですね。

E: 身に余る言葉ですね。でも、私もまだまだ頑張らなくては…。世界中の人たちがお互いの言葉に敬意を払うことで、文化的な相違を乗り越えることができると考えています。みなさん、私の母国語を話してくれてありがとう。もうすぐ長い英文を読むことが怖くなくなりますよ。

T: それでは、お元気で。

E&T: 頑張ってください。